

北区の風景

北区の「人」

子どもからおとしよりまで、すべての人が笑顔で出会い、ふれあい、育ちあう。一人ひとりを大切にしています。何事にも、一所懸命に取り組んでいる人々がいます。ボランティア活動も盛んです。

区民の誰もが健康でいきいきとした毎日が過ごせるように、区民との協働を基本に福祉や健康づくりに総合的に取り組んでいます。

未来を担う子どもたちが夢を持ち、学び、遊ぶために学校教育や地域活動が盛んです。自立した区民が学び合いながら良好なコミュニティを形成し、人の輪が広がっています。

もちつき
●稲付の餅掲げ



●赤羽馬鹿祭り



北区の「みどり」

江戸時代の北区は、飛鳥山の花見、滝野川の滝浴みと紅葉、そして王子稲荷詣と、江戸市民が1日のピクニックを楽しむ行楽地でした。変化に富んだ自然と豊かに広がる農村地帯、緑あふれるうるおいの場所として、四季を通じて多くの人々が訪れていました。今でも、上野の山からJR京浜東北線沿いの崖地には、緑が続き、公園や庭園、保護樹林、自然樹林などが、都市化の進むまちにやすらぎを与えています。また、緑豊かな中に、噴水や流れ、池、滝などの水場を配置したり、自然の湧水を活かした公園も整備され、区民のいきい場所となっています。

北区の「水」

北区は、荒川、隅田川、石神井川、新河岸川の4つの河川に恵まれ、それぞれが豊かな水辺空間を形成しています。広々とした流域空間をもつ荒川河川敷には、野球場、サッカー場のほか、バーベキューも楽しめるイベント広場などが整備され、区民に親しまれています。石神井川沿いには、「武蔵野の路(石神井川コース)」として遊歩道や緑地が整備され、野鳥を観察したり、ジョギングや散策を楽しむ人々の姿が多く見られます。石神井川旧河道を整備した音無さくら緑地には、古代からの自然の川岸も残され貴重なものとなっています。

●赤水門



●芝桜



●赤羽桜並木通り



●滝野川公園



●音無親水公園



●都電レトロ車両

